

LECIP GROUP

第59期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

The 59th Interim Business Report



レシップホールディングス株式会社
(旧 レシップ株式会社)

証券コード：7213



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

当社の第59期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

代表取締役社長 **杉本 眞**

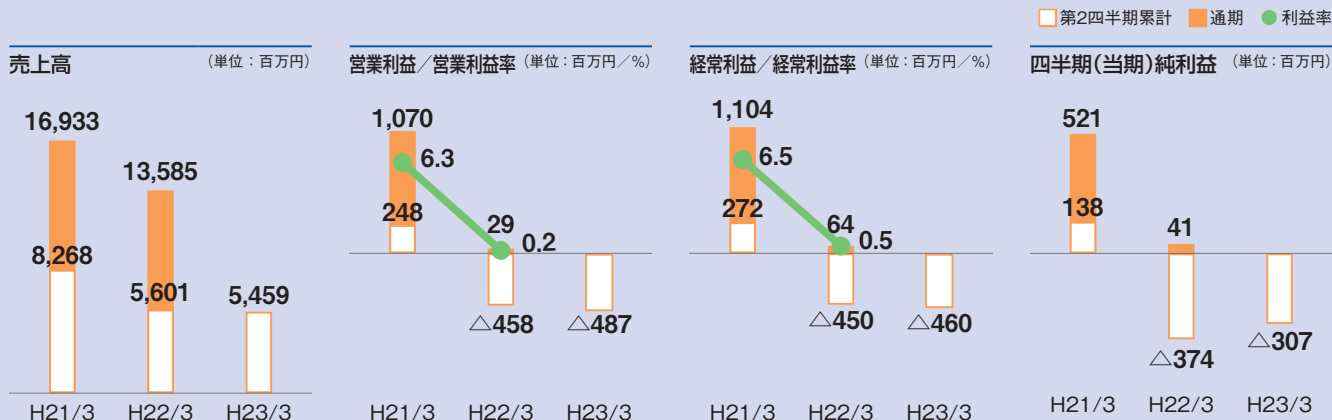
当第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国向けを中心とした輸出の伸びや政府の緊急経済対策の効果などにより一部に持ち直しの動きが見られましたものの、依然として雇用情勢の厳しさやデフレ傾向が続きましたほか、急激な円高の進行もあり、先行きの不透明感が強い状況で推移しました。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、当期が中期3ヵ年計画「CE2012プラン」の初年度であることを受け、重点課題である「新商品開拓への力強い熱意」、「五つの総ての市場での海外展開」、「コスト競争力の強化」の達成に向けた土台作りに注力してまいりました。

しかしながら、主力の国内バス市場において、各バス事業者様の設備投資の先送り傾向が続いていることなど、当社においては、厳しい事業環境が払拭されず、当第2四半期連結累計期間の売上高は54億59百万円(前年同期比2.5%減)、営業損失は4億87百万円(前年同期は4億58百万円の営業損失)、経常損失は4億60百万円(前年同期は4億50百万円の経常損失)、四半期純損失は3億7百万円(前年同期は3億74百万円の純損失)となりました。

連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights



通期の業績予想について

通期の業績予想につきましては、平成22年10月19日の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、連結売上高132億円、連結営業利益1億25百万円、連結経常利益1億40百万円、当期純利益59百万円に修正しております。

これは、輸送機器事業におきましては、引き続き設備投資の先送り傾向が続くものと予想されるため、主力の国内バス市場向け製品が想定を下回る見通しとなったこと、及び海外展開の一環として注力している米国バス市場向けの販売が未だ実現していないこと、加えてS&D(サイン&ディスプレイ)事業におきましては、LED電源や蛍光灯型LED灯具の拡販が出遅れたことと併せ、産業機器事業におきましては、プリント基板実装が、エコカー補助金の終了に伴い下期以降の落ち込みが懸念されることなどの理由によるものであります。

純粋持株会社体制への移行について

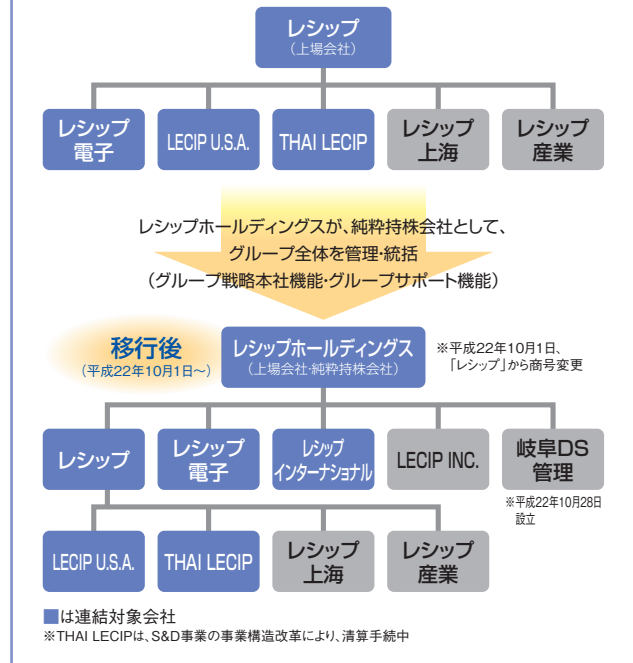
平成22年10月1日、当社は、会社分割による純粋持株会社体制への移行に伴い、レシップホールディングス(株)に商号を変更するとともに、レシップ(株)、レシップインターナショナル(株)を設立しました。

純粋持株会社となるレシップホールディングス(株)は、競争力をより高めるためのグループ経営戦略の策定とその推進に取り組むとともに、コーポレートガバナンスの強化、マネジメント人材の強化、海外事業戦略の再構築等を進め、グループ全体の総合力を追求しながら、さらなる成長を図ってまいります。

一方、新設のレシップ(株)は、中核事業会社となり、既存事業(輸送機器事業、S&D事業、産業機器事業)におけるスピーディな収益構造改革の実現を目指します。

また、レシップインターナショナル(株)(LECIPI INTERNATIONAL INC.)は、主に輸送機器事業の海外展開を担当します。

純粋持株会社体制への移行について



なお、純粋持株会社体制への移行は、グループ内の再編であり、事業内容に関する変更はございません。

今後も、私たちレシップグループは、光・電力変換・情報処理の分野において、新技術・新商品を継続的に開発して社会に提供し「快適な日常の実現」を目指すことで、社会の発展や、日常生活の利便性向上、満足度向上に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成22年12月

輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道車両・トラック・乗用車に搭載される室内用・荷室用照明機器の製造・販売も行っています。

●主な製品 バス・鉄道用システム機器

ICカードシステム、磁気式カードシステム、運賃箱、整理券発行者、OBC-VISION(液晶表示器)、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器など



OBC-VISION(液晶表示器)



LED式行先表示器



カードリーダー付運賃箱



降車信号装置 (押しボタン)

その他車載機器

バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器、ドライブレコーダー



保冷・冷凍車向け荷室用LED灯具



新幹線用照明

■当期の営業概況

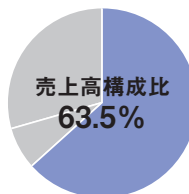
国内バス市場向け製品について、各事業者様の設備投資先送りの傾向や、競争激化等による製品単価下落のほか、上期に予定していた大口物件の一部が下期へずれ込んだことなども影響し、減収となりました。

売上高 **3,467**百万円

(↓前年同期比8.1%DOWN)

営業損益 **△272**百万円

(→)



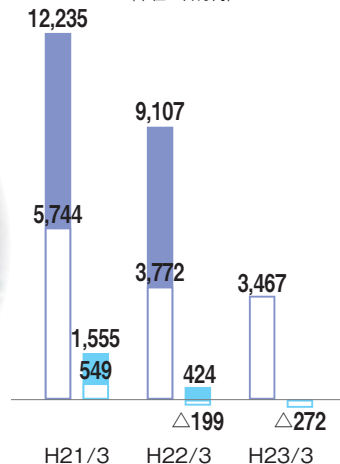
売上高

□第2四半期累計 ■通期

営業損益

□第2四半期累計 ■通期

(単位：百万円)



トピックス Topics

路線バス内の地域密着型情報配信サービスに着手

lipil

バスチャンネル

路線バスにて、多目的かつリアルタイムの情報配信が可能なデジタルサイネージ(DS)事業「バスチャンネル」に着手し、2010年10月28日、岐阜新聞社との共同出資により、当事業を運営・管理する「岐阜DS管理株式会社」を設立しました。

「バスチャンネル」では、バス車内に設置した液晶ディスプレイにて、地域情報、ニュース、CM及び天気予報など様々なコンテンツを表示し、乗車中のお客様に各種情報を提供します。

まずは、岐阜乗合自動車(岐阜バス)様とのタイアップにより、岐阜市内を運行する路線バス100台にて「バスチャンネル」を展開する予定です。

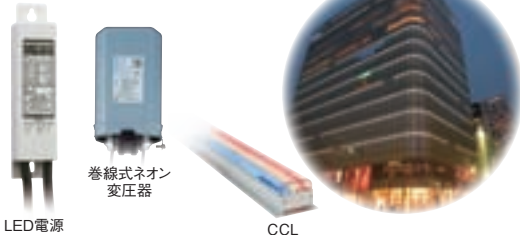


S&D(サイン&ディスプレイ)事業

長年のノウハウの蓄積により、屋外で使用される広告用各種電源機器(LED、蛍光灯、ネオン等を点灯させるための機器)を製造、販売するほか、LED照明灯具や建築照明システム(CCL)等の新たな製品開発も進めています。

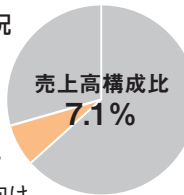
●主な製品

LED電源、屋外蛍光灯看板用電子安定器、CCL、ネオン変圧器(巻線式・電子式)



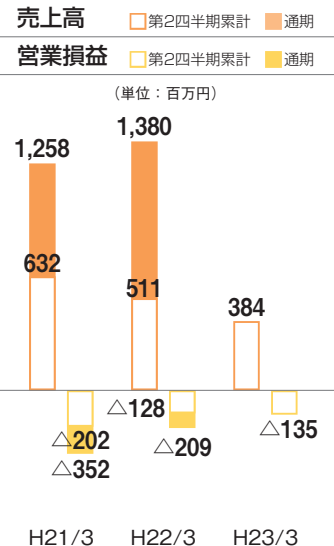
■当期の営業概況

LED電源の拡販を進めているものの、蛍光灯型LED灯具向けやLEDダウンライト向けなどの市場導入が出遅れたことなどから減収となり、損失幅はやや拡大しました。



売上高 **384**百万円
(↓前年同期比24.9%DOWN)

営業損益 **△135**百万円
(—)



産業機器事業

インバータ技術をベースに産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子(株)において、自動車用電装品、電子機器関連の各種プリント基板実装事業を行っています。

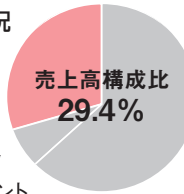
●主な製品

バッテリー式フォークリフト用充電器、無停電電源装置、EMS事業(プリント基板の実装)



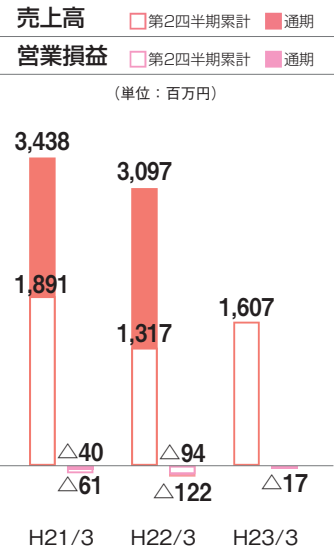
■当期の営業概況

バッテリー式フォークリフト用充電器が増収となったほか、子会社レシップ電子(株)のプリント基板実装が自動車市場向けを中心に売上が増加しました。損益面については、前年同期と比べて改善いたしました。



売上高 **1,607**百万円
(↑前年同期比22.0%UP)

営業損益 **△17**百万円
(—)



(単位：百万円) (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結貸借対照表

科目	前連結会計年度末 平成22年3月31日現在	当第2四半期連結会計期末 平成22年9月30日現在
資産の部		
流動資産	7,987	6,386
固定資産	2,534	2,462
有形固定資産	1,650	1,541
無形固定資産	58	55
投資その他の資産	825	865
資産合計	10,521	8,849
負債の部		
流動負債	4,324	2,941
固定負債	908	1,001
負債合計	5,232	3,942
純資産の部		
株主資本	5,328	4,925
資本金	735	735
資本剰余金	719	719
利益剰余金	3,887	3,484
自己株式	△14	△14
評価・換算差額等	△39	△18
純資産合計	5,289	4,906
負債純資産合計	10,521	8,849

■ 四半期連結損益計算書

科目	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
売上高	5,601	5,459
売上原価	4,697	4,678
売上総利益	904	780
販売費及び一般管理費	1,362	1,268
営業損失(△)	△458	△487
営業外収益	39	48
営業外費用	31	20
経常損失(△)	△450	△460
特別利益	4	86
特別損失	58	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△503	△376
四半期純損失(△)	△374	△307

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△612	638
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	344	△546
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△422	49
現金及び現金同等物の期首残高	863	524
現金及び現金同等物の四半期末残高	441	573

トピックス Topics

個人投資家向けイベント、名証IRエキスポ2010に出展

2010年7月16日から17日までの2日間にかけて、名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2010」にブース出展いたしました。

猛暑にもかかわらず、大勢の方々のご来場くださり、当社のブースにお立ち寄りくださいました。

今後の海外展開や、環境対応のLED製品、名古屋地区で導入が予定されているICカードシステムなどについて質問が集中したほか、株主優待内容についても高い関心をお寄せいただきました。



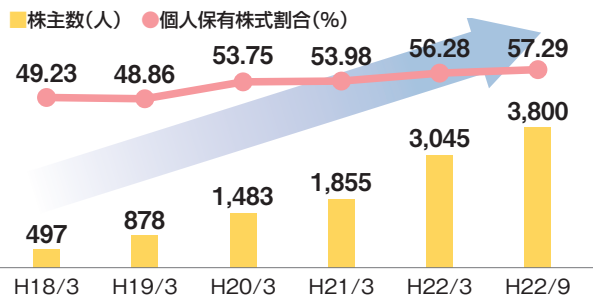
(平成22年9月30日現在)

(平成22年10月31日現在)

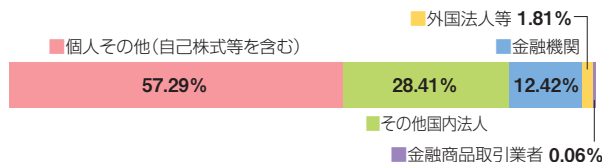
● 株式の状況

発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式総数	6,399,100株
株主数	3,800名

● 株主数推移



● 所有者別株式数分布



● 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
レシップ社員持株会	575,320	8.99
名古屋中小企業投資育成株式会社	468,240	7.31
重陽産業株式会社	430,690	6.73
宗教法人記念堂	422,280	6.59
株式会社十六銀行	280,000	4.37
杉本 眞	211,300	3.30
天野 賢敬	160,020	2.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	122,500	1.91
朝日火災海上保険株式会社	120,000	1.87
瀬川 隆彦	107,960	1.68

● 会社概要

商号	レシップホールディングス株式会社 (英文社名: LECIP HOLDINGS CORPORATION)
所在地	〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2 TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
設立	昭和28年3月(旧レシップ株式会社) ※平成22年10月1日、旧レシップ株式会社は、会社分割による純粋持株会社体制への移行に伴い、レシップホールディングス株式会社に商号を変更し、レシップ株式会社、レシップインターナショナル株式会社を新たに設立しました。
資本金	7億3,564万円
従業員	連結475名(平成22年9月30日現在)
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部

● 役員

代表取締役社長	杉本 眞
常務取締役	山口 芳典
取締役	長野 晴夫
取締役(非常勤)	河村 雅敏
取締役(非常勤)	杉山 涼子 (社外取締役)
常勤監査役	安田 義則 (社外監査役)
監査役	中川 彰
監査役	内木 一博 (社外監査役)
監査役	中島 宜隆 (社外監査役)

● レシップグループ

レシップ株式会社※
レシップ電子株式会社※
レシップインターナショナル株式会社※
レシップインク(米国)
レシップ上海電機有限公司(中国)
レシップ産業株式会社
岐阜DS管理株式会社

(※は連結対象会社)

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 (兼)特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告といたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由 によって電子公告による公告をすることが できない場合は、日本経済新聞に掲載して 行います。なお、電子公告は当会社のホーム ページに掲載しており、そのアドレスは 次のとおりです。 http://www.lecip.co.jp/hd

株式に関するお手続き

- 株式に関する各種お手続き(住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱しております。詳しくは、お取引証券会社にお問い合わせください。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、特別口座で管理されております。特別口座に関する各種お手続き(証券会社の口座への振替(※)、住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、従来どおり、三菱UFJ信託銀行にてお取扱いたします。
(※)証券会社の口座への振替について
特別口座では株式の売買を行うことはできません。売買を行う場合は証券会社の口座に株式を振り替えううえで、証券会社においてお手続きを進めることになります。
 - 証券会社の口座をお持ちでない株主様は、あらかじめ証券会社で口座開設のお手続きを行ってください。
 - 単元未満株式の買増請求・買取請求につきましては、証券会社の口座に振り替えなくても特別口座において行うことができます。特別口座に関する各種お手続きに必要な用紙のご請求は、下記のフリーダイヤルまたはホームページで24時間受付しております。
 - 用紙請求専用フリーダイヤル 0120-244-479(自動音声案内)
 - ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にてお取扱いたします。

● 株主優待制度のお知らせ

対象株主	当社株式を100株(1単元)以上保有されている株主様を対象といたします。(基準日:毎年9月末日)
優待内容	当社本店所在地(岐阜県本巣市)の特産品である富有柿(進物用:1箱、2,000円相当)を贈呈いたします。
贈呈の時期	基準日現在で、当社株式を3年以上保有している長期保有株主様には、2,800円相当の富有柿(1箱)を贈呈いたします。
	毎年11月下旬より順次発送を予定しております。

富有柿(2,000円相当)



株主優待贈答品について

「天下を治める」という意味の「富有」と名付けられ、柿の王様と称される甘柿の代表種です。
橙紅色で丸みのある大果で、渋みの全く残らない完全甘柿です。岐阜県が発祥の地といわれています。

お問い合わせ先

レシップホールディングス株式会社 (旧 レシップ株式会社)

管理本部 人事総務部 (IR担当)

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2

TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597 URL:<http://www.lecip.co.jp/hd>

